

# 生石まちづくり通信

〈第3号〉

生石地区まちづくり協議会  
発行責任者；福山 勝幸  
編集責任者；石本 隆廣  
松山市高岡町860-67  
TEL/FAX 971-2975



## 「生石地区まちづくり協議会」発足！！



本年4月12日に多くの生石地区住民・団体の皆様のご協力により「生石地区まちづくり協議会」を設立することが出来ました。ご尽力いただきました皆様に感謝申し上げます。

ようやく、生石地区まちづくりをさらに発展させていくためのスタートラインに立ちました。まちづくりは、スタートしますがゴールはありません。駆伝のように、次の世代、また次の世代へとタスキを渡して行きます。当然、将来を担う若い人たちの負担になるようなタスキを渡すことは出来ません。少しでも、地域の負担を減らし、地域の魅力を磨いていきながら、次の世代へ美しいタスキを渡したいと考えています。そのためには、我々生石地区に住む住民や団体と、企業やNPOなど、多くの団体が連携を図り、一丸となる必要があります。今後、身近な生活課題から大規模災害の備えまで、多岐にわたる壁に対し、真剣に向き合いながら、一步ずつでも魅力あふれる、くらしやすい生石地区になりますよう皆様の温かいご支援をお願いいたします。

すでに、北吉田、高岡の地権者様のご協力も頂きました。本当にお一人、お一人にお力を貸していただきおりまことを厚くお礼申し上げます。



## 生石の宝もの！

垣生山は防災機能、健康保養機能、文化機能の3つの役割を兼ね備えた生石地区のシンボルの山である。また松山の空の玄関である松山空港が望める風向明眞な118mの最高の山、この山の整備は生石地区の最大の課題であり中期、長期の目標で進めて行きます。

昨年の10月より整備が始まり北吉田、弁天山トンネル上の神野様の雑木林を無料で借用し開墾、平成26年2月2日には松山市、野志市長をお迎えし、植樹式(桜の木30本)を実施しました。10年、20年後の満開の桜を楽しみに、今後も垣生山の地権者の皆様にお願いし、雑木林を開墾し桜の木を植えて行きたいと思います。

垣生山整備部部長 川本 三美



## <豆ちしき>

生石八幡神社では毎年1月1日～7日までの間、祭事に太鼓を打たない。又、この期間は一般参拝はしない。12月31日に打ち止め、1月7日に打ち始めの神事を行う。そのわけは、この神社に大魔が住んでいて毎年大晦日には若い娘を人身御供にしていたが、ある年闘犬を身代りにして出てきた怪物と戦いどちらも死んでしまった。その後残酷なことはやめ、助けられた娘さんは身ごもり、一人の子供が生まれたがその子は石だった。これはあの時の犬の生まれ代わりではとのことで石を奉ることになったという謂れがあり、今でも大晦日からお正月の7日までは神様のは開けないのでそうです。

<松山むかし話より>



# 安心・安全をパトロール！



みなさん、青い回転灯をピカピカさせてゆっくり走るクルマをみたことがありますか？それは「青パト隊」です。青色回転灯を装備する自動車を使用し、回転灯を点灯させて行う「自主防犯パトロール」の活動なのです。青色回転灯を点灯することにより、パトロールしていることがわかりやすく、「見せる防犯活動」として、犯罪の抑止効果も期待されています。生石地区では「生石地区安全・安心パトロール隊（福山勝幸隊長）」が組織されており、現在、パトロール車22台、隊員200名が、それぞれ分担して活動を行っています。防犯パトロールは、地域住民への被害の未然防止を目的としており、犯罪や事故に繋がる危険個所の点検や防犯灯の状況のほか、子どもの被害・非行防止のための声かけ、犯罪や事故・不審者を発見した際の通報など、管轄の西警察署と連携をして対応しております。安全で安心して生活できる明るい「まちづくり」に貢献できるよう、「青パト隊」は今日もピカピカとパトロールをしているのです。



生石地区青パト隊の皆さん

## 児童生徒をまもり育てる日



平成17年11月より愛媛銀行では、松山市教育委員会と連携し、児童生徒の登下校時に教職員、保護者、地域住民、警察署等と共に道路に出て見守ってます。

(写真：生石小学校生徒下校風景)



愛媛銀行ふるさと見守り隊出発式（H24年8月）

## こどもたちの安全を見まもる

こどもたちを悲惨な交通事故や不審者、変質者から身を守る「見まもり隊」、将来を担う子ども達は生石の宝です。9月から新学期が始まります。一人も不幸な子どもを出さない取組は大人の出番です！！

## △神社ダッシュ！



生石保育園では、体力づくりと、地震発生時の津波からの避難訓練もかねて、生石八幡神社の石段を子どもたちと一緒に登っています。

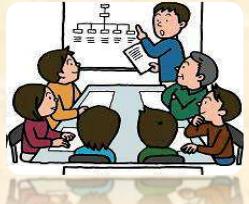
以前は生石小学校に避難していましたが時間がかかりすぎるため、一番近くで高い場所、生石八幡神社へ場所を変更。小さな子どもたちは先生が抱いて神社の階段を上がります。限られた人数で安全に避難させるには、日ごろからしていないと急にはできません。今では子どもたちも足腰が強くなり、中には何往復もする子どももいて楽しんで取り組んでいます。



生石地区まちづくり協議会は、昨年度一年間の準備会を経て、今年4月12日に西中学校に於いて設立総会を開き、正式に発足しました。その際活動の拠点を生石公民館に置くことも承認されました。

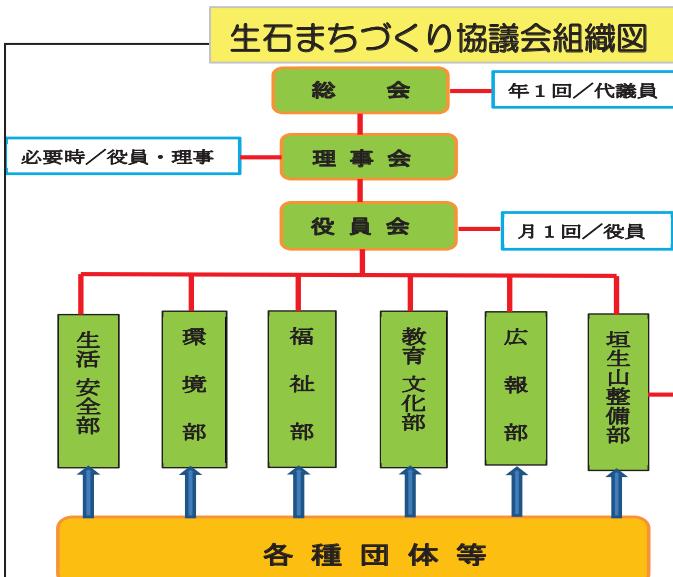
その後5月19日に役員会を開催し、今年一年間の活動とまちづくり計画の策定に向けて、毎月第三木曜日に役員会を開く事を申し合わせ、副部長を選出しました。さらに役員会の意向を踏まえて、6月20日には第1回合同部会を開催しました。部会は生活安全部、環境部、福祉部、教育文化部、広報部、垣生山整備部の6つの部から成っています。

このまちづくり協議会には、生石地区の全ての町内会等を始めほとんどの組織と多くの企業が加入しているため、生石地区在住の皆様方は何らかの形で生石地区まちづくり協議会の組織の一員になっています。どうか今後ともよろしくご協力をお願いいたします。



生石地区まちづくり協議会事務局長 田中 秀明

# まちづくりってなんだろう？



H26年2月2日桜植樹



植樹後の山は雑草が生い茂り、今年も5回草刈りを行いました。今後は雑草除去が大きな課題となってきました。生石地区的皆さんの垣生山整備へのご協力・ご支援をお願いします！

- <今年度垣生山整備部の行事予定>
- 毎月第2土曜日 垣生山整備(9時～11時30分)  
(1)雨天時は翌日に順延  
(2)駐車場は垣生山入口に借用しています。  
(3)草刈り道具、鎌、鋸などある方はご持参下さい。
  - 必要備品購入  
(1)草刈機、鎌、消毒器、その他
  - 電話連絡網整備
  - 生石小学校6年卒業記念桜植樹



桜植樹後の雑草刈り

## ミネルワ夏まつり



老人保健施設「ミネルワ」では8月23日(土)恒例の「第20回ミネルワ夏まつり」が行われました。

入所者の「動く」「食べる」を最重点課題におき、自立を目指したリハビリに取り組む中で、その家族と職員、更には多くの地域の皆さんとのふれあい・絆を深めるイベントとして、今年20回目を迎えたこの夏祭り、会場には大勢の人がつめかけ、盆踊りや数々のイベント、立ち並ぶ屋台に人気が集まり、夏の夜のひとときを楽しんでいました。



## 地域をつなぐ・絆とおもてなしイベント

### ＜南吉田盆踊り＞

南吉田町では8月13日、恒例の盆踊り大会が行われました。18時より新仏さま、戦没者のご供養を極楽寺ご住職をお迎えして執り行い、その後地域住民300余名が中央公園に集い、幼稚園児から高齢者までが「炭鉱節」を始めとした踊りで亡くなられた方を想い 心一つにして楽しい一夜を過ごしました。



### メタボが気になるお父さんへ

日頃ジムに通うのもおっくうなお父さんへ安・近・短の近場のレジャースポットをご案内しましょう。

「生石のまちづくり協議会」では、垣生山の整備がメインテーマとなっていますが、垣生山は今でも高岡口からでも北吉田口からでも高岡団地からでも登れる様になっています。登山道も垣生山公園管理協力会(米井会長)の努力で整備されています。例えば、生石小東門からまっすぐ北へ五分くらい歩くと、山に突き当たります。そこから左へ約五分、農道を登ると高岡口でそこから垣生山山頂までゆっくり登って約二十分、山頂は公園となっていて展望台やブランコ、休憩所などがあります。また五~六百年以上前栄華を誇った豪族植生氏を祀った垣生山神社といった史跡もあり、眼下には松山空港や瀬戸内海、生石の町並みが広

### ＜おしらせ＞

- ★ 9月は各地区で「敬老会」開催、(各地区)
- ★ 10月12日;生石地区体育祭(西中グランド)
- ★ 11月3日;生石地区文化芸能祭(生石公民館)

### ＜ふれあい・ラジオ体操＞

久保田町では、子供たちの夏休みに合わせて、7月22日~8月8日までの3週間「ふれあい・ラジオ体操」を行いました。幼稚園児から高齢者まで朝のNHKのラジオ体操に合わせて元気に体操を行いました。期間中の参加者は1,000人を超えて、朝の履脱天満宮広場には子どもたちの元気な歓声がこだましていました。

がり眺望を楽しめます。また垣生山系を東へ間道を抜けてゆくと約二十分くらいで津田団地へと下れます。そこから折り返してもいいですし、また宮前川沿いを帰路についてもいいです。休日にはお子さん、お孫さんと一緒に垣生山を散策してみませんか?春の桜の季節や秋の紅葉時期はお薦めです。

### ＜編集後記＞

今年の夏は、日本列島各地で甚大な土砂災害、水害をもたらしました。広島県で発生した土砂災害では70名を超える尊い命が犠牲となりました。犠牲となられました皆様に心よりご冥福をお祈りいたします。

「生石地区まちづくり協議会」が4月に発足し、広報部の初仕事がこの「生石まちづくり通信」第3号紙の発行となりました。より多くの皆さんに親しまれ、興味を持って戴ける通信紙をめざし、紙面づくりに取り組んで行きたいと考えています。

どうぞよろしくお願ひします。〈広報部；石本隆廣〉